

長島つわぶきウォーキングを初開催

# 花のラインが道しるべ

町が景観整備の一環として進める「ぐるっと一周フラワーロード」。毎年秋には植栽したツワブキの花が満開となり、黄色い花のラインが島を囲みます。

ツワブキの花を間近で楽しんでもらおうと、第1回長島つわぶきウォーキングが開催され、参加者が鮮やかな花のラインを堪能しました。

11月30日、町民総合体育館をスタート・ゴールとする第1回長島つわぶきウォーキングが開催されました。

大会には、町内外から745人がエントリー。この日は、あいにくの雨となりましたが、多くの参加者は事前に雨具などを準備して、悪天候に備えました。

開会式で、川添健町長が「今年にはツワブキの花が例年より早く咲き始めた。満開の峠は過ぎたが、ツワブキも人間も峠を越えてからが円熟味を増す。長島のおもてなしを十分楽しんで」とユーモアいっぱい歓迎のあいさつを述べました。

コースは、赤崎橋パーキングパークを折り返す7キロと、塩追集落を通り川床ふれあいの郷で折り返す13キロの2コースで、参

加者は、ツワブキの黄色い花のラインを道しるべに、思い思いのペースで歩きました。

沿道では、ツワブキの花のほか季節の花ばなや、たわわに実り色づき始めた柑橘類が参加者の目を楽しませました。

コース途中では、ふかしたサツマイモやお茶などが用意され、長島のおもてなしを受けた参加者からは笑顔がこぼれました。

毎年1月と2月に開催する「すいせんウォーク」と「獅子島ウォーク」に続く3つ目の同大会を「今後、長島の3大ウォークとして進めたい」と話す川添町長。参加

者からは「また参加したい」との声が多く聞かれました。7キロコースに参加したさつま町の久永荘六さん、栄子さん夫妻は「雨でも楽しいウォーキング大会だった。長島のイベントには何度も足を運んでいる。景品も豊富で満足。来年もぜひ参加したい」と笑顔で話しました。



↑雨の中、スタートした大会



気の合う仲間とウォーキングを楽しむ参加者

